

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	百貨店（業績管理担当）	・前回の緊急事態宣言明けには売上が大きく改善しており、今回も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、売上は回復すると考えている。
(東海)	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株も弱毒化しているので、世界の動向と同じように3月には収束に向かうと思うが、ウクライナ情勢で原油が値上がりし、取引先メーカーも4月から一斉に20%以上の値上げをする。このような値上げが続くと景気に水を差す。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスも落ち着いてきたので景気は上向くと思う。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響も多少は弱くなると思われる。
	○	百貨店（営業担当）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、まん延防止等重点措置が解除されれば、消費者のマインドも変わり来客数も戻り始めると予想する。
	○	百貨店（計画担当）	・一定の周期で新型コロナウイルスの感染拡大と収束が続く流れがしばらく続き、それに合わせて来客数の増減が続くと考える。
	○	スーパー（経営者）	・まん延防止等重点措置が再度延長される可能性が大きく、不透明だが期待したい。
	○	コンビニ（企画担当）	・新規感染者数はピークを過ぎつつあり、今後3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいくと、人の動きは更に活発になると予想される。これに伴って徐々に売上も増加傾向に転じると思われる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、第6波が沈静化してくれば人流の回復があると思う。
	○	コンビニ（店長）	・人材確保が問題なくクリアできれば、予定している販促計画も万全に行える。
	○	コンビニ（商品企画担当）	・第6波のピークアウトによる客足の戻りによって、ある程度の回復は見込まれる。
	○	コンビニ（店員）	・暖かくなり、外へ出掛ける人が増えると思う。
	○	コンビニ（本部管理担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数のピークアウトが示唆されており、今後に向けては再び経済活動が平常を取り戻すと想定する。今後は、小売業界の景気に関して良好な未来があると思料する。
	○	乗用車販売店（経営者）	・多少は改善することを望みたい。
	○	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株も小康状態に入り、先々の新築、リフォーム物件の引き合いが多くなってきている。また、住宅、商業施設やオフィスビルなどの新築や入退去時の問合せも出てきている。
	○	その他専門店 [貴金属]（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されることで、卒業、入学、入社の新生活を迎えるに当たり、経済の再起動を期待する。
	○	一般レストラン（経営者）	・来月にはまん延防止等重点措置が終了し、これ以上延長されることはないと思う。その分人流が増えると思う。
	○	一般レストラン（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されれば客が戻ってくることを祈っている。
	○	バー（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。
	○	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がピークを過ぎ、新型コロナウイルスのワクチン接種が更に進みこれ以上感染が拡大しないとなれば、景気は戻ってくると思う。観光需要喚起策がスタートすれば、今よりは需要が回復して景気がやや良くなることは考えられる。
	○	都市型ホテル（従業員）	・就職、転勤、研修など、この時期特有の予約がそれなりに入っている。
○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して経済の動きが良くなる。	
○	都市型ホテル（総支配人）	・まん延防止等重点措置さえ解除されれば、企業も個人も動くので、政府の基本方針見直しを期待する。	
○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に収束が感じられるならば、良くなると思いたい。	
○	旅行代理店（営業担当）	・春以降にバス1台程度の団体旅行を数件受注しているので、今後の感染動向によっては多少期待ができる。	

○	ゴルフ場（支配人）	・2か月先の4月の入場者予約数は、各ゴルフ場共に好調であった前年より順調に推移している。特に悪かった今月よりは、景気は良くなると思う。
□	商店街（代表者）	・ここ2～3か月が底に近い状況なので、これ以上変わりようがない。客単価が上がらないと売上につながらないので頭が痛い。
□	一般小売店〔高級精肉〕 （常勤監査役）	・全てウクライナ問題が安定的に解決されなければ分からない。
□	一般小売店〔結納品〕 （経営者）	・新型コロナウイルス次第で店の景気も上下するので、恐らくもうしばらくはこのままだと思う。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・先に明かりがみえない。
□	一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・2～3か月先も新型コロナウイルスの感染状況は変わっていないと考えるため、経済活動もこのまま自粛していると思う。特にギフト業界では、客の付き合いが極端に狭くなって会わないようにしているため、その影響が顕著に表れて今の状態が続く。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されても飲食店での飲酒は控えられ、以前のような販売量に戻ることは当面考えられない。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の延長が続き重症化する新型コロナウイルス感染者も多いと、やはり買物に出てこない。もうしばらくこのような様子かと思われる。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・正直なところ分からない。新型コロナウイルス次第である。政府が新型コロナウイルスを5類感染症にしてくれたら、全ては終わる。
□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
□	一般小売店〔生活用品〕 （販売担当）	・まん延防止等重点措置も長引き、人々の購買意欲もすっかり停滞してしまっているように感じる。
□	百貨店（売場主任）	・靴の問合せの電話がここ2～3か月多くなった。インターネット検索で取扱店舗と出てくると問合せの電話があるが、専門店ではないのでそのブランド品が用意できるかどうか分からないと答えると、お礼を言って電話を切る人が多い。商品が確実にあるかどうか確認してからの来店が多くなったと感じる。靴は試着してみないと分からないので履くだけの客も多くなり、売上は厳しい状況が続いている。
□	百貨店（経理担当）	・地政学リスクが依然くすぶっていると考えられるほか、資源の価格高騰に伴う値上げが個人消費の減退をもたらすことで、景気はコロナ禍の現在と変わらず悪化した状態が継続すると考える。
□	百貨店（販売促進担当）	・すぐには新型コロナウイルスの感染状況が改善せず自粛が継続するため、景気回復まではいかないと予測する。
□	百貨店（販売担当）	・新規感染者数のピークが過ぎれば客足は徐々に戻ってくると思うが、状況が読めないため判断が難しい。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が毎日4000人を超えており、いつ収まるか分からない状態では、2～3か月先ではまだまだ変わらないと思う。
□	スーパー（販売担当）	・先行きの良くなる材料が今のところ考えられないので、余り良い方向にはいかないと思う。
□	スーパー（販売担当）	・自粛が解除されれば外食へ流れる。解除されれば内食へ向かう。新型コロナウイルス次第である。
□	スーパー（総務）	・当地の新型コロナウイルス新規感染者数は高い数値となっているため、外出控えがある。客のまとめ買いが目立っているため、今の状況が続くと思う。
□	コンビニ（エリア担当）	・春先には新型コロナウイルスの影響も落ち着き、少しずつ回復に向かうかと考えていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が収まらないことから、春先もすぐには回復しないと思う。
□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症は収束に向かうと思うが、アフターコロナの景気は良くなると思う。
□	コンビニ（店長）	・まん延防止のための自粛と回復を繰り返しているだけと思われる。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・まん延防止等重点措置の解除後に上向くと期待したいが、ガス、水道、電気料金やガソリン価格の高騰、生活にまつわる商品の価格上昇で消費者には厳しい状況である。しばらくは様子見の様相と考える。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、暖かい日が続けば、外出をしてくれると期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・戦争で原油高、インフレとなったらファッション品は買い控えられる。リベンジ消費がなかなか起きない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・現在の消費動向が当たり前のようになっているだけでなく、景気回復の兆しそのものが全くみえない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・所得の改善がみられないなかでの物価の上昇から、変わらないと判断する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・業種を問わずに客全体の状況が戻ってこない、販売量の回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・身近なところで生活に必要な品物の価格が大きく上がってきたと客との会話のなかでよく耳にする。段々と生活防衛のため、今すぐに必要とは考えない出費は後に回されるように感じる。客の財布のひもはますます固くなるのではないかと心配する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の販売も好調で、販売台数は納期が掛かることもあり前倒して推移している。中古車が高額で取引されるので、新車を3年未満で乗り換える客も増えている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・悲観も楽観もしていない。悪くなる要素もなければこれから良くなっていく具体的な感覚もない。今月は良かったので現状程度ならば上等である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・今後も半導体不足により車の在庫不足がまだ加速していくと思われ、販売量も伸び悩みが見込まれる。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前々年比マイナス9.0%、前年比はプラス2.0%である。来客数は前々年比マイナス16.7%、前年比マイナス0.2%である。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・まん延防止等重点措置が解除されることとともに新規感染者数の減少が明らかにならないと、来客数の急激な増加は期待できない。本来、歓送迎会や年度替わりの宴会等で繁忙期のはずだが、12月と同様に1組当たりの人数減少や延期などが予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、足元の状況よりは良くなるように願う。ロシアによるウクライナ侵略の影響で、原材料の価格や電気、ガスなどの料金の高騰も気になる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかどうかに懸かっている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・外食は控えているが、宅配が増えてきているので景気はそれほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・まん延防止等重点措置は解除されて新規感染者数もピークを過ぎているかもしれないが、絶対数がこれほど多い状況では、企業はもとより個人客もそうたやすく外には出られないと思われる。新年度以降も受注状況は宿泊で40%、一般宴会で20%未満にとどまっている。回復の兆しは全くみえない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（営業担当）	・悪化した状態が当面続くと思われる。客の予約も減少している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がすぐには落ち着かないと思う。感染が落ち着いた状況になれば、客もできる限り旅行には行きたいと話している。3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や新型コロナウイルスがインフルエンザと同程度の感染症の扱いになれば、少し落ち着いて旅行に出掛けられると思う。しかし、日本人の海外旅行はいまだに不可で、ビジネス往来の隔離は3月から緩和されるのになぜ駄目なのだろうか。一部の国とのレジャー往来が、ゴールデンウィーク若しくは夏休みには解除されることを大いに期待したい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は他国では規制緩和が進みつつあるが、国内は3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れもあり消費の回復は遅れている。移動に伴う消費が低迷しているので、規制が緩和されない限り回復は難しい。

□	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株や新しい新型コロナウイルス変異株の状況次第である。まん延防止等重点措置が更に延長になるようで、収束後の施策が打てずにいる状況では、旅行業界の景気が上向きになることはない。
□	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響は徐々に収まってくると思うが、原油高、半導体不足に加え、世界情勢不安から、まだしばらくこの状況が続くと思う。
□	通信会社（営業担当）	・3か月前と比べたら客が動かない。この先すぐに回復するとは思えない。
□	通信会社（営業担当）	・当面今の状態が続くと思う。
□	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況で左右される。
□	レジャーランド（職員）	・まん延防止等重点措置の延長の有無で大きく異なるが、万一ゴールデンウィーク明けまで延長になると、非常に危機的な状況になる。
□	テーマパーク職員（総務担当）	・職場内でも濃厚接触者が出るようになったことで、コロナ禍が今までよりも日常化している。3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで新規感染者数は減少していくが、また新しい新型コロナウイルス変異株の出現で、きりがないように感じている。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・新型コロナウイルスへの警戒感が解けるまでは、同様の状況が続くであろう。
□	美容室（経営者）	・まだまだ先が見えないので、当分今の状態が続くと思う。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと、今後の景気は何ともいえない。
□	住宅販売会社（従業員）	・まだもう少し掛かると思う。緩やかに上向きであろうか。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・3か月後には繁忙期も終わるので、まん延防止等重点措置がこのまま延長すると、景気回復の見通しを立てることは難しい。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・期初は動きが鈍い。
▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるものの、ロシアのウクライナ侵攻など消費マインドを間接的に冷やす情報もある。暖かさもまだ感じられず春物衣料の動きも鈍く、売上回復にはまだ時間を要すると想定される。
▲	百貨店（企画担当）	・ここ数か月、食品、インテリア関係、高額品を除くファッション関連商品の売上は厳しい状況が続いているが、1月以降は特に衣料品の動きが悪い。今後、国際情勢の影響によって富裕層の購買意欲も減退する可能性が高いと感じている。
▲	スーパー（店長）	・景気が良くなるような要因が少ない。
▲	スーパー（店長）	・ロシア情勢により物不足が進み、更に物価が上がり消費が落ち込む可能性がある。
▲	スーパー（店員）	・今後も原材料や燃料費の高騰により、値上げが予定されている。
▲	スーパー（営業企画）	・ウクライナ情勢により燃料価格の高騰は避けられないなかで、消費はより堅調になると思われる。
▲	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が継続中で、新規感染者数も高止まりしており、新型コロナウイルスの感染がいつ終息するのか見込めない。
▲	衣料品専門店（店長）	・労働者にとっての必需品をベースとして売上があるので、今後良くなる要素は余り感じられない。コロナ禍からの復興により経済のエンジンが大きく動かないと、ジリ貧状態が続く。
▲	衣料品専門店（売場担当）	・卒業式、入学式、新入社員向けの2～3月の時期が最も忙しく、2～3か月先はかなり落ち着いて暇になってくる。
▲	家電量販店（店員）	・新生活需要が始まっているが、今年は皆予算が低めに感じる。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今まで単頼り需要の恩恵で悪いなりに何とか売上は立っていたがそれも終わり、プレミアム付商品券や給付金もないため前年超えは難しそうである。参議院選挙目当てのばらまき政策で潤うのも未来の増税や業種による不公平感があり、期待したくない。

▲	乗用車販売店（営業担当）	・第6波では新型コロナウイルス感染が身近に感じられ、感染者や濃厚接触者になる客が多く、来店を取りやめるケースが多くあり、新車販売だけでなく整備の来客も減ったと感じる。そこにロシアのウクライナ侵攻があり、株価下落にエネルギー価格上昇と、景気を悪くする要因になる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・インフレ懸念にウクライナ問題も加わり消費者が将来に悲観的になって、購買行動を控える可能性がある。
▲	乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が高止まりしているとハイブリッド車などの注文が増えるが、その車種を中心に生産制限が続く上に新型車の発売も続々と延期になっていて、客から落胆の声を聞くのが大変つらい。売上がじりじりと下がってきており、厳しい状況が続く。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・新車の販売に当たって、車ができてこないで先食いしているケースがあり、これが頭打ちになっている感じがある。中古車の査定金額も等しく頭打ちになってきた。そうすると、動向としては今後販売量も減ってくるのではないかと思う。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・半導体不足からの生産遅延が続いているなか、北京オリンピックが終わり、雰囲気が落ち着いたところに欧州情勢が不安定になって、欧州からの輸入商品を扱っている身としてはこの先不安しかない。
▲	その他専門店〔書籍〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれればレジャー等に流れると思うので、集客が見込めない。春には近隣に競合店になりそうな大型店がオープンするので、チラシやイベント等を企画して対策を講じるが影響はあると見込まれ、少し売上が減少するのではないかと心配している。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ロシアの問題と新型コロナウイルスで先の見通しが悪い。心理的に消費は伸びない。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・これまで補助金等で倒産を免れていた取引先が、規模の縮小や倒産を考えるようになってきた。
▲	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえない。
▲	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの先行きは全国民の関心事だと思う。さらに、ウクライナの問題が出てきて、果たして日本がこれからどうなるかよく分からない。
▲	理美容室（経営者）	・景気が良くなりそうなことが何もないため、段々と悪くなると思う。
▲	美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないため、来店を控える客がいる。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況によって、変わっていく。
▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・調達コストの上昇が続いている。その影響が4月頃から出てくると予測している。
▲	設計事務所（経営者）	・種まき案件が現時点でほぼ皆無なので、2～3か月先の景気は悪くなるのは必至である。
▲	設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株が終息しても、しばらくは景気が上がらないと思う。
▲	住宅販売会社（従業員）	・ロシアの件が世界に及ぼす影響で、経済状況が悪くなる。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がピークアウトせず第6波から第7波へとこの状況が続くと、これからどうなるか心配である。
▲	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・現在が飽和状態のため、年度が替わって落ち着いてくと思う。
×	商店街（代表者）	・物価高といつまでも分からないコロナ禍での生活で、高齢者世帯の購買意欲がなくなってきていると感じる。
×	商店街（代表者）	・戦争が始まってしまったことにより世界的にエネルギー価格の上昇が見込まれるため、物価が相当上がってしまうと思う。食料品や日用品以外の販売は厳しい状況が続くだろう。
×	スーパー（店員）	・卸売市場に仕入れに行く仲間からは来週から高くなるという言葉ばかりで、オレンジやレモンなどの輸入果物だけでなく、白菜やキャベツなども高値が続くと予想される。世界情勢も絡んで大豆や油なども影響が避けられない状況で、かなり厳しいとみている。
×	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置の延長で、景況感の改善が見通せない。ロシアのウクライナ侵攻により、仕入価格への影響や輸送費にも影響がありそうである。

	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスでただでさえ大ダメージのところろにロシアの問題が始まったので、どう考えても最悪のところまでいくのではないかと思う。
	×	一般レストラン（経営者）	・ウクライナ紛争における世界経済と国内経済への不安が、これからますます大きくなると思う。
	×	旅行代理店（経営者）	・全く先が見通せない状況である。新型コロナウイルスの感染が収まるしか解決がないと考える。
	×	タクシー運転手	・ロシアのウクライナへの侵攻が始まり、株価の下落、ガソリン価格の急騰など先行きの見通しが立たないほど心配している。早く話し合いができて終息することを願っている。この状態が続けば、景気はなかなか良くならないと思っている。
	×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で業界全体が収縮し、監督官庁の規制強化も重なり企業努力を超えている。
	×	その他レジャー [スポーツレジャー紙]（広告担当）	・ウクライナ情勢が大きな影を落としていると予想する。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回される日々がいつまで続くのであろうか。
	×	住宅販売会社（従業員）	・材料の価格高騰と職人の高齢化で、見積りも上がっている。
企業 動向 関連  (東海)	◎	不動産業（経営者）	・都市圏という条件付で、引き続き活発化すると考える。
	○	化学工業（営業担当）	・今よりは外食産業が回復すると思われる。電材向けの出荷も回復見込みである。
	○	化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスの第6波が収まると思われる。ウクライナ情勢も和平交渉が進むことを期待する。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、徐々に復活していくのではないか。年度末はある程度期待できると思っている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・完成車メーカーの工場一時停止は、今後改善の方向に向かうといわれているため、2～3か月後には業績は多少回復すると考える。
	○	輸送業（従業員）	・今月20日を過ぎてから、3月の依頼がぼちぼち入ってきている。客先側が動き出しているようで、3月は繁忙期でもあり、少し良くなりそうな気配である。反面、世界情勢をみると原油価格の高騰がこれからも続きそうなので、運送業界にとっては頭の痛いところである。
	○	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の3回目が進捗しつつあり、今後の新規感染者数も減少すると思う。本当に皆疲弊している。メリハリのある制限ルールを望む。
	○	金融業（従業員）	・新年度が始まり需要は増えると考えられる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ問題等がどの方向に向かっているかにもよる。
	○	金融業（従業員）	・2～4月に決算期を迎える企業が多く、また、卒業などで動きがあるため、若干良くなる傾向になると思う。今は制限されている部分だが、これから新型コロナウイルスの影響も弱くなっていくと皆信じているため、比較的景気は良くなっていくと思う。
	○	不動産業（経営者）	・今後は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減っていくと思われる。外出や遠出する人が徐々に増加すると予測している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況になっていくと見込む。
	○	その他非製造業 [ソフト開発]（経営者）	・生産停止の反動は必ず起こり、3か月後には好転すると思っている。来週には当社の新製品も客に提供することになり前進している。現在繰り返しテスト中である。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	・生産工程が一杯の状況で納期が長くなることを伝えているため、早めの注文が増えており、しばらくは多忙な状況が続く。
	□	金属製品製造業（従業員）	・仕事量の盛り上がりは期待できないなか、原材料コスト高とのせめぎ合いで、状況の好転は期待しづらい。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから、変わらないと判断する。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合いが増えても、部品不足と北米地域への輸送が正常に戻らない限り対応できないため、景気は良くならない。
□	建設業（経営者）	・可もなく不可もなく将来がみえない。悪くなるとも思えず、はっきりとしない。	

□	建設業（営業担当）	・必ずやらなければならない仕事をやっている業種なので、部品等が入りづらいなどの要因はあるが飲食店のような売上の下落や今後の不安はないのは良い。しかし、行政の客からは予算が取りづらいとか福祉等の補助に充てていくという話を聞いているので、先の動きはそれほど明確ではない。
□	輸送業（エリア担当）	・ガソリン価格が高くなっているが、配送単価はなかなか上げられないため、収支は悪くなる。
□	輸送業（エリア担当）	・例年2月は荷物量が落ちている月なので、今月は例年並みの取扱量であった。ただし、3月は年度末で荷物が大幅に動く時期であるが、現段階では客の動きにそれほど活況化する兆しはない。特別な枠での発注も余り予見されないで、今月と同じ傾向が来月も続くことを踏まえて、景気は余り変わらないと考える。
□	通信業（法人営業担当）	・長引くコロナ禍において、政府や自治体任せでは消費者の心や企業、店舗の意欲が湧く施策は出ないと思う。とはいえ、冷え込む景気を上向きにできるヒーロー的な企業も人もいない。経済大国の先行きはコロナ禍をきっかけに明暗が分かれていくと考えるが、我が国は暗だと思わざるを得ない。
□	通信業（法人営業担当）	・良い点として、年金運用益や企業倒産件数の数字には明るさがみられるが、良くない点は、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がいまだ高止まりしていることである。また、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への打撃、ガソリン、エネルギーや小麦粉等の価格上昇等、消費者にとっては好ましくない状況である。
□	金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢が落ち着かないと、特に個人が消費に向かいにくい。当面は現状と変わらない景気が続くと思われる。
□	広告代理店（制作担当）	・コロナ禍のなか活発な広告活動ができず、3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種も遅れているため、景気が良くなる材料が見当たらない。
□	会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として増加傾向にあるが、以前のように強力な自粛要請もなく、感染防止に力を入れながら企業活動が続けられている。ガソリン価格の高止まりやウクライナでの紛争もあるが、今のところ直接的な影響は現れていない。
▲	食料品製造業（営業担当）	・景気回復の要因がない。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	・ガソリンのほか生活必需品の価格高騰が家計を圧迫し、消費はますます冷え込む。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症の影響も大きな要因であるが、主要原材料の値上げが実施され、製品販売価格にすぐ反映できる様子はなく収益面でも非常に大きな圧迫を受けるため、景気はやや悪くなる。
▲	金属製品製造業（経営者）	・仕入価格の上昇がこれからもあるという説明を、仕入先から受けている。
▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスに加えてウクライナ情勢の影響も出てくると思われる。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・前年からの素材単価の値上がりは今後影響を及ぼすと考える。ひどいものでは5割アップもあり、価格転嫁等が難しく消費量が減るかもしれないという不安がある。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束に向けた政策は、我が国だけが立ち遅れている気がする。ウクライナでの戦争も始まり、不安感だけが増す。需要を喚起する経済政策を実施しないと、戦争やコロナ禍の終息後、また我が国だけ復帰できないように感じる。
▲	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらく原材料価格の高騰が続く。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・更に値上げが続くそうである。ガソリン代も下がりそうにはない。
▲	輸送業（経営者）	・コロナ禍での消費減少にウクライナ情勢による資源の価格高騰も加わり、消費は更に落ち込むと考えられる。
▲	輸送業（従業員）	・ロシアのウクライナ侵出に伴い原油価格が高騰し、戦争が長引くほど、世界経済に影響を及ぼす可能性大である。
▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・広告で人を集めることが増えるような気がしない。

	▲	公認会計士	・中堅・中小企業の生産性向上や後継者不在の問題は、短期には解決されない。新型コロナウイルス感染症の影響は貸借対照表に大きなダメージを与えたため、改善には時間が掛かる。ウクライナ情勢等によるガソリンや電気等のコスト上昇が発生すると予想される。
	▲	会計事務所（職員）	・原材料の価格が高止まりしているが、販売価格に転嫁できていないためメーカーが値上がり分を負担している。また、ロシアのウクライナ侵略の影響でこの先原油などの価格がますます不安定になると予想され、景気が良くなる要因がない。
	▲	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新規に需要が伸びるのは4月以降であり、当面は新規受注に結び付かない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響に加え、ロシア・ウクライナ問題が出てきたため、更に悪くなると思う。
	×	鉄鋼業（経営者）	・資源の価格高騰や新型コロナウイルスの影響による自動車を始めとする工場の操業停止など不安定要因が大きく、中小零細の企業はこの動きに振り回されている。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	人材派遣業（営業担当）	・外国人新規入国の再開に期待はしているが、新型コロナウイルスの感染再拡大、ロシア及びウクライナ情勢による原油価格に左右される可能性が高い。
	○	人材派遣会社（社員）	・ゴールデンウィークの地元の祭りは開催が決定し先が少し明るい。新型コロナウイルスの感染者数次第である。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ちていけば、着実に良くなっていく。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることが前提で、各地のイベント再開、旅行関連の動きが戻ることを期待する。
	○	職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業では半導体等部品の供給不足も改善しており、新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくと思われる。一方で新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が高止まりとなっていることや世界的な原油高、原材料高となっていることから、先行きに不安要素がある。
	○	職業安定所（職員）	・新規感染者数は高止まりであるが、個人消費の動向をみると活発化している。
	□	人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるが、数値としてはいまだに高く、引き続き先行きは不透明である。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・求職も求人も6月までは落ち着き、転職市場はしばらく落ち着くと考える。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車製造における部品供給不足と半導体不足の問題はしばらく継続する見込みである。労働者不足問題については、外国人の新規入国を原則停止している水際対策を3月1日から段階的に緩和する方針で、改善に期待を寄せている。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気は決して良くはなく、悪いままで停滞する。企業活動もコロナ禍を織り込んだ形になっており、回復はしないが一気に悪化もしないのではないかと考える。今後は、ウクライナ危機に関連した世界経済の動向が心配である。
	□	職業安定所（所長）	・新規求人数には徐々に持ち直しの動きが見られるが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束が不透明ななかで募集採用活動に慎重な事業所も多い。
	□	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に収束の兆しがみえないなか、新規求人数は確実に増加傾向を維持しており、コロナ禍収束後を見据えた人材確保の動きがある。しかし、新しい新型コロナウイルス変異株の出現に加え、ロシア軍によるウクライナ侵攻による原油の更なる高騰や世界経済の停滞による影響から、現状維持若しくは悪化するのではないかとみている。引き続き新型コロナウイルスの感染状況及びウクライナ情勢を注視していく必要がある。
□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・足元の新型コロナウイルス感染状況や緊張した世界情勢では、これからの市場の変動が読みにくく感じる。上向きへの期待はあるものの、要素として挙げられるものがない。	
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・3月中旬以降は転職希望者の動きが鈍化する可能性が高く、6月以降に活動意欲の高い転職希望者が動き出す見通しである。	



□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大により、本学の学生の主な採用先である医療機関では採用機会、人数共に減少した。それによって関東や近畿圏まで就活、入職が広がる傾向がみられた。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・今月は年間で最も派遣募集が増える時期であり、2～3か月後は今よりも募集数が減ることが予想される。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・ロシアのウクライナ侵攻で世界経済の先行きが不透明である。
▲	職業安定所（職員）	・資源価格の高騰が、ロシアのウクライナへの侵攻等に伴い一層深刻化していることから、運送業を始め多くの産業に深刻な影響を与えられていると思われる。
×	—	—